

基本計画（素案）に係る審議会各部会における主な御意見・議論等（第4回終了時点）

分類	No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
全体に関わる御意見					
施策	1	総合計画では大きな方向性を示し、より具体的な内容は個別計画に示している、ということであれば、そこに誘導するような表現を盛り込んで良いのではないか。	個別計画への誘導として、基本計画（素案）に「関連する主な個別計画」欄を設けている。	—	第2
指標	2	参加者数などの活動指標を示されても、それが多いのか少ないのか分からない。指標に挙げている理由は何か。	参加者数などの活動指標でも、施策の成果を実現するための取組の方向性や内容等が示せるものを設定している。	—	第1
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・現に実施している施策の取組から「施策指標」を考えることは妥当か。10年間の計画期間中に有効な取組が変わることも考えられるが、現に把握できていることに指標を限定することで、新たな取組を進めることが制限されるのではないか。 ・必要に応じて、より適切な指標への変更等も考えられるのであれば、この施策にはこの指標のみ、と限定的に捉えられないよう、指標の示し方に工夫が必要ではないか。 	「IV.基本計画推進のために」において、状況の変化や取組の進捗状況により、必要に応じてより適切な指標に変更等を行うことや、施策指標だけで施策全体の成果や取組内容を示すことは困難であるため、行政評価の際には指標以外の観点からも評価を行うことを示す予定。	—	第1

分類	No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
指標	4	<ul style="list-style-type: none"> 指標は全て数値目標になっている。数値化できないものについては、例えばどんな支援をすとか、考え方や文章で表記することもあり得るのではないか。 現状値と目標値として両方に数値を示すのではなく、現状値から向上、という形で目標を示しても良いのではないか。 	毎年度、行政評価により、施策の成果及び進捗状況を把握・分析する観点から、数値目標が望ましいと考える。	—	第1
	5	<ul style="list-style-type: none"> 毎年数字を取ることができない「介護サービスに対する満足度」を、指標に設定して良いのか。 市民意識指標を別に設定しているが、施策を評価するのに適切であれば、満足度のような市民意識であっても、指標に設定して良いのか。 	<p>「市民意識指標」は、4年に1回の調査であること、また、施策よりも大きなレベル（政策など）の指標であることから、「施策指標」とは別に整理している。</p> <p>施策指標は行政評価に活用するため、行政の取組の成果や進捗状況が確認でき、できる限り毎年把握できるものを設定することとしている。しかし、毎年把握できないものや市民意識を測る指標であっても、施策の評価に最適と考えられる指標であれば設定可能と考える。</p> <p>市民意識指標は、政策レベルのものも含めて市民の意識や満足度などの側面から取組の成果を把握・分析するものとして設定し、施策指標と併せて基本計画の進行管理に活用。</p> <p>上記の考え方を踏まえ、「Ⅳ.基本計画推進のために」の中で、各指標の位置付けや進行管理の考え方等を示す予定。</p>	—	第1
市民意識 指標	6	政策のレベルでみる「市民意識指標」を「施策指標」の中に入れることは難しいとしても、市民の意識と「施策指標」を関連付けられるような工夫はできないか。		—	第1
その他	7	「現状と課題」では、道路、水道、下水道、交通の順に記載されているが、「施策」では、交通が2番目に来ている。記述の並びが異なっていることに何か意図があるのか。	「施策」の並び順を「現状と課題」の記述順に修正。	P32 施策・指標	第2

分類	No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会	
大綱5【環境】						
環境先進都市のまちづくり 政策1	511 指標	8	<ul style="list-style-type: none"> 現状値と目標値の達成度はどの程度なのか、施策指標から達成の難易度が市民に伝わりやすくなるか。 現状と課題について、十分わかりやすいと思うが、よりわかりやすく配慮できる部分があれば、検討を。 	<p>施策指標については、個別計画なども踏まえて設定しており、詳細は個別計画で示す。また、総合計画においても指標の考え方、積算などをできる限りわかりやすく示す予定（資料8）。</p> <p>なお、現状と課題においては、市域のエネルギー消費量に増加の兆しが見られる状況を示しており、その状況の中で、大幅削減を目指すことは、難易度の高い目標に取り組んでいると考える。</p>	—	第2
	512 指標	9	ごみの排出量削減やリサイクル率の向上は重要だが、活動的な指標が入れられないか。取組の結果、どう変わったかを市民は見たいのでは。	ごみ排出量の削減に資する市民の行動を示す「マイバッグ持参率」を追加し、「リサイクル率」を削除。	P28 指標512	第2
	513 施策	10	「自然共生への理解」とはどのようなことか。啓発活動や情報発信などの活動指標と、その成果指標をセットにして、具体的なイメージが湧くようにできないか。	「自然共生への理解」について、生物多様性に対する普及啓発による理解などを示すものである。また、施策6-1のみどりの分野にも関連する。自然共生に係る施策指標を検討したが、現時点では適した指標の設定が困難。	—	第2
		11	市民や地域の取組がある中で、企業向けの数値提言はないのか。また、環境美化について、学校教育における環境活動などの指標を掲げるべきでは。	環境美化について、企業に対する具体的な数値目標はないが、環境美化推進団体として活動いただいております。また、学校とも環境教育など連携を行っているが、施策指標として、適した指標の設定が困難。	—	第2

分類	No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
環境先進都市のまちづくり 政策1	513 指標	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境美化について、様々な活動があるのであれば、パッケージとして具体的な目標を示せないか。 511と512の指標は、妥当と考えるが、513は、啓発活動や情報発信を現状の施策指標では適切に表せていないのでは。 市民意識の高まりを成果とするならば、環境美化推進員の登録数のほうが良いのでは。啓発活動として良いことだが、情報発信の成果が見えるか。施策を代表する指標に見直す必要があるのでは。 美化活動に参加する人数が増えるなどのほうが、市民にとって理解しやすいのでは。表彰される環境美化活動の団体や、活動に参加、登録する人数が増えていくことが、環境に対する意識改革のうえで価値があるのでは。 	<p>様々な美化活動が行われる中で、それらの活動を担う環境美化推進団体の増加が市民の環境美化意識の向上につながると考え、指標513「環境美化推進重点地区の指定数」を「環境美化推進団体数」に修正。</p> <p>環境美化推進団体は、5人以上の環境美化推進員で1つの団体を構成しており、20人以下で構成される団体が多い中、800人以上で構成されることもある。団体ごとの推進員数に大きな差があり、人数による目標設定が困難なことから、「環境美化推進員数」ではなく、「環境美化推進団体数」を指標に設定。</p>	P28 指標513	第2
		<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情解決の割合について、特別委員会からの意見にもあるが、解決した割合と公害の未然防止、早期解決が、どのようにつながるのか。 苦情件数は、他市と比べてどうか。他市よりも数値が悪いなら、苦情件数を減らすことは妥当であり、検討するべき。 前もって苦情が起こらないようにする取組が、開発の抑制に必ずしもつながらないのでは。市の工夫により発生件数が減る可能性があり、検討する必要があるのでは。 公害解決は個別計画の評価で十分見ることができ。総合計画に掲げる指標として、513の施策を虚心坦懐に読み、既存のデータから、適切な指標を再構成する必要があるのでは。 	<p>公害の未然防止については、事業者に対し、条例に基づいた事前協議などによる環境配慮、住民への周知徹底を、一定、行っている状況。そのような中、事業者が規制基準を順守して開発等を行っている場合でも、立地条件や生活環境等により苦情につながるケースが多く見られる。そのため、事業者及び住民との調整を図るなど、個々の状況に応じて早期に苦情解決を行うことが、重要であると考えため、苦情を解決した割合を指標として設定。</p>	—	第2

分類	No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会	
大綱6【都市形成】						
みどりの豊かで安全・政策適1 な都市空間づくり	611 指標	14	施策に「住民主体のまちづくり活動への支援」とあるので、具体的な活動から指標をつくることできれば市民にわかりやすいのでは。	住民主体のまちづくり活動を支援する考えから、地区整備計画等を指標としている。たとえば、地区整備計画は、住民自身が地域のまちづくりの方向性を検討する仕組みであり、地区整備計画の策定地区数が増えるほど、住民主体のまちづくりが進んでいるといえるものと考え。	-	第2
	612 指標	15	本市は大阪市の衛星都市。衛星都市の一般的な課題として、今後は空き家問題が大きくなるとされている。今の転入超過がいつまでも続くわけではない。耐震化率も重要だが、その指標だけでいいのか検討を。	「腐朽・破損のある空き家の割合」を指標に追加。	P.30 指標612	第2
	613 施策	16	「地域の特性を生かした新たなみどり」とあるが、外来種が在来種に悪影響を与えるような場面もあるので、外来種が入らない仕組みづくりなども考えていただきたい。	生物多様性や防災、憩い、遊びの空間などみどりのもつ様々な側面に注力している中、外来種に関して危機感を持っているが、現時点で施策に具体的に盛り込むことは困難。	-	第2
		17	・防災機能の向上はみどりのどのような側面と関係するのか。 ・みどりを避難空間として活用する観点でいえば、公園の数ではなく、たとえば、所在地や避難物資の状況などから、どのように整備していくかという内容が見えれば、防災機能のためのみどりの空間であると市民にもわかりやすいのでは。	みどりの中でも公園は、防災面では都市の中の貴重な空間であると考え。防災担当所管と連携しながら、公園の防災に関する機能の活用を図ることは重要であり、具体的には個別計画等で示す。	-	第2
	18	公園の維持管理に関して、樹木の選定や草刈りを行う際には、そこに住む生き物の立場に立った維持管理方法も先進的に取り入れていただきたい。	みどりの保全にあたって、様々な観点から適切な維持管理に努める。	-	第2	

分類		No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	613 施策・ 指標	19	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュータウンでは、近年、開発によりみどりの面積が減少しているが、民間の土地利用に係るみどりの比率は指標として示さないのか。 ・緑被率ではなく、開発において今あるみどりを活用してもらったり何らかの制限をかけるなどの実効性の高い対応をしていかなければ、千里ニュータウンのイメージが崩される。 ・指標が「公園などの面積」しかなく、民有地の緑化に向けた取組などが無い。 	<p>No.19～21を勘案して指標を追加予定。</p> <p>※「みどりの基本計画」においては、将来目標として緑被率等を設定。 指標613として、今後10年間の取組の方向性を示しながら、市民がみどりの増減を実感しやすい指標について新たに設定できるか検討中。</p> <p>※また、指標613「公園などの面積」について、数値に誤りがあったため修正。</p>	検討中 指標613	第2
		20	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュータウンには大きな公園があるが、旧市街には遊園のような感じの公園が多い。場所によっては管理が行き届いておらず、子どもたちが遊べない状況。ボール遊びのできる公園が少ない。子どもが遊べる公園づくりを検討していただきたい。 ・市民感覚で見るときに、遊ぶ場所も含めた「みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり」がわかるような形になるよう、既存のデータでイメージしやすいものを入れるよう検討を。 			第2
	613 指標 (611 612 指標)	21	<p>政策6-1「みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり」から、3つの施策は何となくイメージができるが問題は指標。まちづくりのルール、景観に関するルールは納得できる部分があり、耐震化率も妥当かと思う。みどりについては、この指標が悪いわけではないが、実際、みどりが減ってきていることがわかることが重要であり、市民がイメージできるものを検討すべき。</p>			第2

分類		No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
安全・快適な都市を支える基盤づくり	政策1 613 指標	22	施策に「情報発信や啓発などを行います」とあるので、具体的な活動から指標をつくることできれば市民にわかりやすいのでは。	市民によるみどりの活動を支援するため、「花とみどりの情報センター」などで様々な情報発信や啓発等を実施。さらに支援を広げるため、様々な団体との連携をはじめたところであり、現時点で指標を設定するのは困難。	-	第2
	現状と課題	23	現状と課題は、道路に関する内容が多いように見えるが、水道と下水道に関する記述を増やす必要はないか。	現状と課題の2段落目の「都市施設」に水道と下水道も含み、老朽化と災害への備えという課題を示している。	-	第2
	政策2 624 施策・ 指標	24	<ul style="list-style-type: none"> 交通不便地域の利便性・安全性の向上に関し、市が取組を実施したことをアピールできるような指標を設定できないか。 交通不便地域が減少しているなど、一目でわかる指標が必要では。公共交通は、市ができることと民間企業がやることなどがあるが、市ができる範囲のもので検討を。 JRや阪急など多くの路線があるが故の複雑さも感じる。道路も含めて、利便性とは何か整理が必要ではないか。市民交流という目線でも、不便というものを考えてみては。 交通弱者の問題もある。総合計画では、市民から見て吹田市ががんばっていることをアピールできる指標を示す必要がある。 	市民意識指標として、「鉄道・バスなど公共交通網の利便性に満足している市民の割合」を追加。施策指標については、交通不便地域の面積等を検討したものの数値の算出が困難であること、また、現在、具体的な対策に向けた調査等を実施する予定であることから、現段階で設定することは困難。	P42 市民意識指標	第2
政策2 624 指標	25	<ul style="list-style-type: none"> 自転車通行空間を指標の目標どおり整備すれば、自転車と歩行者の事故は改善されるのか。 自転車による事故が増えている中、自転車通行空間は1つの目標と感じたが、事故件数を指標に入れても良いのでは。 	自転車が安全・快適に通行できる空間の確保に向けての今後の取組がわかりやすく示せる指標として、自転車通行空間の整備延長を設定。	-	第2	

分類		No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
安全・快適な都市を支える基盤づくり 政策2	622 623 指標	26	<ul style="list-style-type: none"> ・施策と指標のつながりを見ると、下水道は更新、長寿命化を意識しているのが指標で読み取れるが、水道は耐震化率だけで問題ないか。 ・水道、下水道は内容としては同じような内容なので、耐震化率、更新率、長寿命化率など、施策の進捗を同じような指標で測る方がわかりやすいので、データがあるなら検討を。それぞれ重点的に取り組む部分などは個別計画に書けば良い。 ・一斉に施設をつくった以上、毎年更新しても追いつかない状況にあること等は、市民にも理解してもらう必要があり、多少わかりにくくても率直にデータを示すべき。 	<p>水道施設及び下水道施設については、ともに老朽化対策が急務であることから、「下水道管路の更新及び長寿命化延長」に加え、「水道管路の更新延長」を指標として新たに追加。</p> <p>また、耐震化率は、下水道施設については今後の取組を検討している段階であるため、現状は目標設定が困難である一方で、浸水被害の軽減等の取組を重点的に進めている状況であることから、「雨水排水整備率」を指標として追加。</p>	P.32 指標623	第2
	大綱7【都市魅力】					
地域経済の活性化を図るまちづくり 政策1	現状と課題	27	<p>北大阪健康医療都市（健都）に関する記述があるが、その後に続く開業率や中小企業の経営基盤の強化など地域経済の活性化に関する内容とつながっていない。健都ができることによる地域経済への影響を想定しているのか。</p>	<p>現状と課題の第1段落については、産業における本市の状況について記載している。</p>	-	第2
	現状と課題・711施策	28	<ul style="list-style-type: none"> ・特別委員会から農業について触れられていないとの指摘がある。農業の状況についての認識は。 ・都市部における農地・農業のあり方が大きく変わろうとしているのであれば、そのような記述が必要なので検討すべき。 ・単に「農地のさまざまな機能の活用」とするより、例えば「食育の場」「都市農園としての活用」など簡単な例を示すとよい。 	<p>近年の都市農業の動向について現状と課題に「また、都市における農地は、貴重なみどりの空間や自然とのふれあいの場などとしても役立っており、都市と調和する農業の振興が求められています。」と追記。</p>	P33 現状と課題	第2

分類		No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
地域経済の活性化を図るまちづくり 政策1	711 施策	29	中小企業などの経営の安定や事業拡大、創業支援について、具体策を示した方が市民がイメージしやすいのでは。	<p>総合計画では大きな方向性を示しており、具体的な内容は個別計画に記載。</p> <p>今後、施策として実施する就労支援や職業紹介の手段については、社会経済状況の変化等に応じて柔軟な対応が可能ないように記載しておく必要があり、施策には記載しない。</p>	-	第2
	712 施策	30	JOBナビすいたについて施策に記載するべきでは。「JOBナビすいたの知名度の向上と機能評価を図ることにより就労相談や職業紹介の充実を図る」など具体性があったほうがよい。			第2
	712 指標	31	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標と成果指標を並べることで、活動量に対して成果が上がってこない、といったことが把握できるのでは。 指標711は成果指標に近いが、712に関しては活動指標だけになっている。活動した成果がわかるように追加できるものがあれば、検討できないか。 	<p>活動指標であっても成果指標であっても、施策の成果を実現するための取組の方向性や内容等が示せるものを設定している。</p> <p>また、就労に関する成果指標を検討したが、施策指標として適した指標の設定は困難。</p>	-	第2
文化・スポーツに親しめる まちづくり 政策2	現状と課題・ 施策	32	<ul style="list-style-type: none"> 内容は理解できるが、高齢者や子ども達など、それぞれの世代に向けた具体的な取組内容が書かれていても良いのでは。例えば、高齢化が進み、平均寿命が延びている、だから健康寿命のために身近な地域でスポーツができる環境が必要なんだ、といった、素直に理解できる文章表現にするべき。 多文化共生やスポーツへの参加といったことが書かれているが、何を求めているのかの目標を明確にすべき。 	<p>多文化共生とその目的について現状と課題に「また、国内外の文化交流を進めるため、都市間交流や多文化共生の視点に立ったまちづくりを進めることも重要です。」と追記。また、スポーツについて、市としての課題や具体的な取組がわかりやすくなるよう、現状と課題を修正。</p>	P35 現状と課題	第2

分類		No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
文化・スポーツに親しめるまちづくり 政策 ₂	721 722 723 指標	33	<ul style="list-style-type: none"> 入館者数や参加者数といった指標を見て「文化やスポーツの振興が進んでいる」と市民が思えるのか。例えば、市民意識調査の結果を入れたほうが、市民にわかりやすくなるのでは。施策の全体像がわかる方がよいので検討のこと。 入館者数や参加者数では現状値が妥当か市民にはわからないのでは。どうしても人数を指標とするのであれば、現状値の妥当性を示すべきでは。 吹田市は具体的にどうしようとしているのかが一目見てわかる指標を検討できないか。 	<p>市内の文化団体数や活動状況の指標化などについても検討したが、数値の把握は困難。文化会館(メイシアター)や博物館は、文化にふれる機会や、文化活動の拠点として提供しているため、入館者数の把握は重要。</p> <p>スポーツにおいては、指導者育成に積極的に取り組んでおり、指標723については「地域におけるスポーツ指導者の延べ認定者数」を追加。また、「地域におけるスポーツ活動などイベントへの年間参加者数」については、市民体育祭などの参加者数を含む数値に変更し、指標名を「スポーツイベントやスポーツに関する講座などへの年間参加者数」に変更。</p>	P36 指標721 指標723	第2
	721 施策	34	<ul style="list-style-type: none"> 「都市間の文化交流」「多文化共生の視点に立ったまちづくり」は、市民にとってわかりやすい表現か。 例示などを入れることで印象が変わるので、検討のこと。 	<p>現状と課題に、目的とともに「都市間の文化交流」「多文化共生」についての記述を追記。</p> <p>また、「多文化共生」については用語集に記載。内容は検討中。</p>	P35 現状と課題	第2
市民が愛着をもてるまちづくり 政策 ₃	全体	35	<ul style="list-style-type: none"> 目標には「市民が愛着や誇りをもって住み続けたいと思えるまちをめざす」とある一方で、施策7-3-1には「市民から本市の魅力を市内外に発信」とあるが、魅力の発信は別の話である。 目標と施策と施策指標のつながりがわからない。抜本的に検討するべき。 色々な要素が入ってきているので用語同士がどうい関連性があるのか系統立てて文章を整理しなければ、市民に伝わらない。 主として観光と永住であろう。一般性のある話でつなげて説明する必要がある。 	<p>本市のシティプロモーションの考え方は、市民にまちの魅力を知っていただき、愛着を醸成することで定住意向の向上につなげるというもの。また「魅力の発信」については、市民がまちの魅力を感じられる機会を充実させることで、本市の魅力が市民から市内外へ広がるよう仕掛けていくことを指している。このような方針を示し、施策731との対応がわかりやすくなるよう「現状と課題」第2段落及び施策731を修正。</p> <p>また、第3段落について、市民の愛着に向け、本市独自の強みである大学やガンバ大阪の活用が重要であることを示す内容に修正し、施策732との対応がわかりやすくなるようにしている。また、これに伴い732の施策名を修正。</p>	P37 現状と課題 P38 施策731 施策732	第2

分類	No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会
市民が愛着をもてるまちづくり 政策 ₃	731 指標	36 【吹田まつりへの協賛・協力団体数】 ・吹田まつりの参加者数は出ないのか。吹田まつりの盛り上がりは協賛・協力団体でわかるのかは疑問。 ・参加者数がわかったとして、愛着や誇りを持って住み続けたいまち、という目標に繋がるかどうか。こうした目標であれば認識を聞かなければ仕方ないのでは。	吹田まつりは市民がまちの魅力を感じられる機会として重要であり、その魅力をさらに高めるためには地域の連携が進むことが必要なことから、協賛・協力団体数を指標として設定している。 「住み続けたいまち」の認識については政策レベル以上の指標と考えており、市民意識指標の「いま住んでいるところが気に入っている」ので、住み続けようと思っている市民の割合で測ることとしている。また、施策評価では、施策指標と市民意識指標を併せて評価に活用する。	-	第2
	732 指標	37 【市内でのガンバ大阪を応援するためのイベントの年間参加者数】 ・イベントの1回あたりの参加枠が決まっており、年間参加者数は伸びない。地域ぐるみでの応援のにぎわいがわかるものなど、貢献を示すことができればよい。 ・指標では伝わりにくいので、例えば施策の中に「ガンバ大阪と子どもたちとの交流の中でまちに愛着をもってもらう」など具体的な内容を文章化するほうが、市民にもわかりやすいのでは。	地域ぐるみでの応援の機運を高めていくことは重要な考え方であり、施策732に「地域ぐるみでの応援の機運を高めます」と追記。 また、ガンバ大阪と子ども達との交流の中で愛着をもってもらうための取組を実施しており、指標の参加者数には、小学生を対象としたふれあいイベントの参加者などを含む。そのことがわかるよう、指標名を「ガンバ大阪と小学生のふれあいイベントなど応援イベントへの年間参加者数」に変更。	P38 施策732 指標732	第2
		38 【大学との連携による事業やイベントなどの年間実施回数】 大学との連携が深まったことが、指標に挙げているイベントなどの年間実施回数だけでわかるのか。	大学との連携がより多くの分野の取組で進むことを想定していることから、年間実施回数を指標として設定。	-	第2

分類	No.	主な御意見・議論等	考え方（案）	資料18 反映箇所	部会	
大綱8【行政経営】						
行政資源の 効果的活用 政策 ¹	811 指標	39	財政に関する指標は専門用語が多く、注釈を入れるなど工夫すべき。	巻末の用語解説にて対応。	-	第2
		40	財政調整基金残高の目標値について、今後の歳入と歳出の動向を分析・検討した結果により挙げられた数値であるか。	中長期財政計画を踏まえて目標値を設定するため、中長期財政計画策定後に再調整をさせていただく予定。	-	第2
	812 指標	41	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の最適化計画から指標を再検討すべき。 投資的経費について、財務諸表を使いながら、経営の健全性をみることも可能ではないか。 	公共施設の最適化計画は、一般建築物の最適化を推進するための基本的な方針を示したものであり、数値目標については、現在策定中の一般建築物の個別施設計画完成後に設定するため、現段階では他の指標を設定するのは困難。	-	第2
	813 施策	42	<ul style="list-style-type: none"> 「現状と課題」で、人材育成と効率的な組織運営を進める必要があるという課題を捉えているのに対し、施策では「効率的な行政組織の構築」「人材育成と組織の活性化」と、組織についての記述が二分されている。その分け方と施策の記述、指標が合っているか。 	施策813では職員の人材育成について述べているため、わかりやすくなるよう、施策名を修正。	P40 施策813	第2
	813 指標	43	<ul style="list-style-type: none"> 「職員の研修満足度」は、行政資源の有効活用や行政課題の対応をみるのにふさわしい指標といえるか。 人材育成として、個々の能力をあげていくことを盛り込みたいのであれば、資格取得など、高度な人材がいかに増えているかというほうがイメージしやすい。 ラスパイレス指数や一人当たり労働生産性の指標を設定するなど、コストパフォーマンスの部分を見る必要があるのでは。 	行政課題に適切に対応するためには、時代の変化等に迅速に対応できる職員を育成する必要があり、職員研修の内容を充実させることが重要であることから、「職員の研修満足度」を指標として設定している。	-	第2
	その他	44	限られた制約の中で人、お金、建物といった既存の経営資源を効率的に活用するために「ICTの利活用」の施策がつながる。施策の構成を再検討してはどうか。	施策813から814に順序を変更し、現状と課題の記載内容の順序も併せて修正。	P39 現状と課題 P40 施策814	第1